

夕陽に映える西国東干拓地

—自然美と干拓地の融合美—

—大分県豊後高田市—

(株)三祐コンサルタンツ 渡邊圭四郎

1. はじめに

周防灘は遠浅であり、干潮時には広大な干潟が広がっている。直轄西国東干拓建設事業は戦後に実施された緊急開拓事業の一環として大分県豊後高田市の呉崎新田および真玉新田の前面に展開する広大な干潟を延長 14,078 m の堤防で囲み、59,138 ha を干陸して 418.3 ha の農地を造成するとともに背後地の災害防止と排水改良を行うことを目的とした事業である¹⁾。

西国東干拓地(図-1)の北東部に広がる真玉海岸は特定の気象条件が重なった時にだけ、夕陽の輝きと干潟の影が織りなす縞模様がみられる絶景として有名である。



図-1 西国東干拓地の位置図

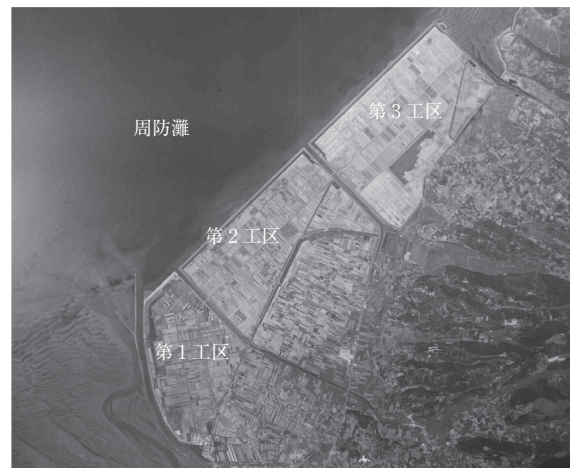
2. 干拓の歴史

本地区は、周防灘に臨む国東半島西海岸取付部で、豊後高田市の呉崎および真玉町地先をほぼ東西に伸びる干潟地で、古来干拓適地として着目され、約 140 年前に完成した呉崎新開 360 ha をはじめとし真玉新開、透留新田等はいずれも干拓による造成地である²⁾。

戦後緊急開拓事業の一環として国土を創造して耕地を開き、食料増産を挙げ、近零細農の増反と内地移民による安定農家の設立を目的として、本地区の干拓事業が推進された。

本地区は地区外から流入する広瀬、赤坂、真玉の 3 小河川によって、西側より第 1 工区、第 2 工区、第 3 工区の 3 ブロックに分かれている。第 1 工区(146 ha)

は、昭和 21 年 6 月運輸省(現国土交通省)委託工事として発足したが、昭和 27 年 4 月以降は農林省(現農林水産省)の直轄事業として実施されている。建設工事は昭和 31 年度に完成している。第 2 工区(195 ha)は昭和 28 年度、第 3 工区(248 ha)は昭和 32 年度にそれぞれ着工し、昭和 44 年度に完成している(写真-1)³⁾。



注) 国土地理院航空写真をもとに筆者が作成。

写真-1 西国東干拓地造成後(昭和 46 年)の状況⁴⁾

3. 直轄海岸保全施設整備事業「西国東地区」の概要

本地区は、南海トラフおよび周防灘断層帯地震の影響を受ける地域である。堤防等の施設は、必要な耐震性能を有していないことから堤防の崩壊が危惧され、さらに砂質地盤の液状化による被害が懸念されている。また、常襲する台風により、高潮による農作物等の被害が生じている。

このため、平成 30 年度に着工した直轄海岸保全施設整備事業「西国東地区」では海岸保全施設に必要な機能の確保を目的とした整備を早急に行い、大規模地震および高潮による甚大な被害を防ぎ、自然災害から地域住民の生命・財産を守るとともに国土保全を図り、併せて海岸線の環境・利用に配慮し、人々に親しまれる海岸整備を行うものである(表-1)。

表-1 西国東地区の事業概要⁵⁾

| | | | | |
|--------|----------------------------------|-------|-------|-------|
| 防護面積 | 1,100 ha (農地：800 ha, 宅地等：300 ha) | | | |
| 防護人口 | 約 1,710 人 (防護戸数：約 778 戸) | | | |
| 主要工事計画 | 堤防補強工 | 7.3km | 排水機場工 | 3カ所 |
| | 排水樋門工 | 3カ所 | 遊水池工 | 5.8km |

4. 地域の概要

本地域の気候は年間平均気温が16℃前後と温暖で瀬戸内式気候に属している。沿岸部の年間降水量は1,500 mm 前後と県内で最も少ない地域である。

豊後高田市の農用地面積の占める割合は約15%で大分県の平均に比べて2倍程度と非常に高くなっている⁶⁾。これは、江戸時代以降の干拓により多くの農地が造成されてきたことによる。

砂地土壌の干拓地では、白ネギを中心とした大規模な農業が展開されており、このほか、葉タバコ、スイカ、ブドウ等の収益性が高い営農が展開されている(写真-2)。



写真-2 干拓地（背後地）の状況

豊後高田市の白ネギの作付面積は367 ha（市町村別で全国第3位）、収穫量は7,390 t（市町村別で全国第6位）で、年間を通じて出荷されており、西日本一の産地となっている。特に、本事業の受益地である干拓地の白ネギの作付面積は310 ha（平成19年）と県内シェアの6割以上を占めている（写真-3）⁷⁾。

5. おわりに

写真の撮影地点である真玉海岸は周防灘に面しており、大分県の中で唯一、水平線に沈む夕陽が見られる。夕陽の美しさは、「日本の夕陽百選」に選定されており、おいた遺産にも「真玉海岸の夕陽」として認定されている。

遠浅の海であるために広大な干潟を有する真玉海岸では、特定の気象条件が重なった時にだけ見られる絶景がある。潮が引いた遠浅の浜に巨大な縞模様が現れ、



干拓地に入ると見渡す限りの白ネギの風景が広がる

写真-3 干拓地区内の白ネギ作付け状況

点在する黒い干潟と夕陽の色を映す潮だまりは、日が傾くにつれて、刻々と色を変え、光と影のコントラストが描かれていく。西国東干拓地は、その背後に夕陽に映えて佇んでいる（写真-4）。



写真-4 干潮時の真玉海岸の状況

引用文献

- 1) 九州農政局西国東干拓建設事業所：にしくにさき，p.6 (1969)
- 2) 農林省農地局：開拓・干拓総覧，土地改良新聞社，pp.425～426 (1964)
- 3) 前掲1)，pp.8～9
- 4) 国土地理院：地図・空中写真閲覧サービス，<https://mapps.gsi.go.jp/maplibSearch.do#1>（参照2020年11月11日）
- 5) 九州農政局：海岸保全事業の概要，https://www.maff.go.jp/kyusyu/seibibu/kokuei/25/05_jigyounogaiyou.html（参照2020年11月11日）
- 6) 九州農政局：地域の概況，https://www.maff.go.jp/kyusyu/seibibu/kokuei/25/02_tiikinogaikyou.html（参照2020年11月11日）
- 7) 九州農政局：地域の営農，https://www.maff.go.jp/kyusyu/seibibu/kokuei/25/03_tiikinoeinou.html（参照2020年11月11日）